

アプリのこと



1年分の
Smile!



今月の表紙はミントグループの安海貴裕さんです。

今年度、安海さんが見せてくれた笑顔の中でも、選りすぐりの写真となっています！来年度も様々な活動をして楽しんでいきましょう！！

ひとりごと ～振り返り～



平成29年度も残りわずか。みなさんは、次年度に向けての準備はいかがでしょう。つどいの家・アプリの今年度を少し振り返りたいと思います。

年度初め、利用者の緊急入院や長期欠席が重なり、入院中の利用者のお見舞いや家庭訪問の実施など職員はできる限りの情報を得るために日中支援以外の場面で奮闘しました。また、発達しょうがいや自閉症のしょうがいの特性理解し、きちんとアセスメントした上で「根拠のある支援」を実践してきました。自閉症＝構造化の概念だけではなく、ひとり一人の支援を映像で見直すうちに、支援の方法が「根拠のない支援」となっていたことに気がつきました。まだ駆け出しではありますが、長期化も見据えて、今後も試行錯誤していきたいと思います。

つどいの家・アプリが開所して、8年目。利用者の平均年齢は28.3歳とまだまだ若いメンバーです。利用者の本人主体の支援を目指すため、支援者の発想や実行力がどのように生まれるのか、とても楽しみです。今年度もつどいの家・アプリに対して、たくさんのご協力・ご支援いただき誠にありがとうございました。次年度もどうぞよろしく願いいたします。 (記：大累)

*平成30年9月15日(土)に『つどいの家・アプリ バザー「バザ〜っす!」』を予定しています。

保護者コラム

立春を迎えて生まれた萌も、25歳になった。この頃、楽しいことがたくさんあるようで、景色を見ては思い出し笑いをしたり、寝言で何かを訴えていたり…。情緒的な成長を見せてくれて、私たちも楽しい。それには、同じ年頃の職員との関わりも影響しているのではないかと思っている。

以前は、年上の人に頼ったり、甘えたりが当たり前だった。今は、同い年の職員と2人で地下鉄に乗り、カフェで食事をするという経験もさせてもらっている。同じ時代を生きてきて、自分の知らないことをいっぱい知っている仲間が傍にいてくれるということが、心をワクワクさせているのかもしれない。

一生懸命育ててきたつもりが、親にはできないこともある。それに、形があるものはいつかは無くなる。時間にも限りがある。でも、感じることや情けには形がない。この形の無いものを誰かに託してみたいと思う。

スタッフに対抗して、女子トークを試みた。
母「ねえ、好きな人いるんでしょ？だ〜れ？」
萌「(にんまり笑って) がかか〜♪」
うむ…まだまだ箱入り娘である。

(記：アプリ保護者 坂本志乃)





～今年度を振り返って～



今年度のミントグループのテーマは「いろんなことに挑戦する！」夏に海に行ったり、うどん・味噌作りをしたり、染物アートなど、いろいろな活動をした一年でした。来年度も様々なことに挑戦していきながら、アプリの中だけではなく、「外」に目を向けた活動をしていきたいと思います。
(記：押切)



バジル



バジルグループは「お互いを知り、お互いが楽しく」をテーマに活動してきました。利用者・ご家族の皆さん、そして地域の皆さん、活動を通じてのたくさんの出会いに感謝しながら、心に残るできごとが一つでも多く生まれたことを祈っています。

来年度もバジルグループらしく活動していきましょう!

(記：高橋)

カモミールグループの加納愛美さんに今年度を振り返って、インタビューをしてみました!!

Q：どんな活動が楽しかったですか?

A：秋保温泉が楽しかったです!

外出するのが大好きな愛美さん! これからも様々な場所に外出し、

素敵な体験・経験をしていきましょう♪

(記：佐藤(愛))



今年度のクレソグループは、温泉やピクニック・芋煮会など、グループ全員で外出の機会を設け、みんなでわいわい、楽しい時間を過ごしてきました!

代表して、栗野このみさんにインタビュー♪

Q. 「今年度、楽しかった活動はなんですか?」

A. 「プール!」(プールの絵カードを指さしながら)

来年も、新たな場所に外出して、素敵な経験を積んでいきましょう!(記：榊原)

今年度ジャスミングループは、体を動かすことを中心にそれぞれの輝く力、得意なことを活かした活動を展開してきました。

代表して高橋穰さんにインタビュー!

Q. 運動たのしいですね♪

A. ボールバックを持って「ま!(体育館へ行きたい!)」

来年度もたくさん運動しましょうね♪

(記：庄子)



桃子さん成人おめでとう

1月13日、今年度成人を迎え高橋桃子さんの「新成人を祝う会」が行われました。

会当日、赤と黒の素敵な振袖に身を包んで少し緊張した面持ちでしたが、お世話になった7名の来賓の方にもご出席いただき、とても嬉しそうな表情でした。

桃子さんの生い立ちをお母さんと職員のテンポ良い掛け合いで行ったスライドショーや、アプリ利用者・職員や桃子さんと縁のある方々からの個性あふれるビデオレターに、会場は笑顔に包まれました。桃子さんやお母さんがお互いにあてた手紙の朗読では、積み重ねられてきた絆や思いが感じられ、とても感動的でした。

会の準備を進めていく中で、お母さんや様々な方から桃子さんとの思い出を聞き、桃子さんの存在の大きさや、築いてきた関係の広さを改めて感じました。新たな人生の節目を迎えた桃子さんと、これから様々な活動を通してたくさんの思い出を作っていきたいと思います。(記：寺島)



豆まきをしました！



今年は、一日早く2月2日に豆まきを行いました。当日、みんなで豆まきを行うために集まるとなんとびっくり！とてもリアルで怖くて面白い鬼が登場しました。鬼を見てびっくりする方や笑顔になる方、泣いてしまう方もいましたが、そんな時ストレッチマンに扮した職員が登場！ストレッチマンと一緒に豆まきを行い、豆の音や「鬼は～外、福は～内」という楽しげな掛け声が館内全体に響き渡り、無事に鬼を退治することができました。お昼にはおいしい恵方巻を食べ大満足の豆まきとなりました。(記：八巻)





研修報告～アメニティーフォーラム～

2月9日から11日までの3日間、滋賀県で開催された「アメニティーフォーラム」に参加してきました。このアメニティーフォーラムは、しょうがい者の地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることを目的に、毎年2月に滋賀県大津市で開催され、全国から1500人を超える人たちが参加しています。

フォーラムでは、“しょうがい”がハンディにならない社会（ハンディのある人の豊かな地域生活の実現）に向けて必要なサービスと、それを提供していく仕組みづくりを提案していくという内容を中心に、共生型福祉サービスや、報酬改定などの制度改革の中でより良い支援を行う方法をシンポジウムや講演を通して学びました。今回フォーラムに参加して、全国的なしょうがい者福祉に関する問題点やそれを取り巻く環境について知ることができました。これから福祉は人口減少による、省エネ福祉時代に突入していきます。その時代で「ハンディのある人の豊かな地域生活」とは何かを未来を見据えながらじっくり考えて行動していきたいと思いました。

(記：小原)



太白区役所販売会



2月22日に、太白区役所販売会に参加してきました。みんなで「いらっしゃいませ」と声をだすとたくさんの方が立ち寄ってくださり、アプリの利用者・保護者が共同で作成した布ボールや山田玉子（羊毛で作ったストラップ）などを手に取っていただきました。地域の方とお話することができ、利用者もとても嬉しそうな表情をしていました。来年度も、太白区役所販売会に参加していく予定ですので、つどいの家・アプリの看板を見かけた際は、ぜひお立ち寄りください！お待ちしております(#^^#)

(記：笹原)





バレンタインクッキング



2月といえば…「バレンタインデー♡」ということで、生チョコ作りに挑戦しました！
 アプリの女性利用者が集まって一緒に活動する機会が今年度はあまりなかったので、久しぶりの女子トークに花を咲かせながら、板チョコをみんなで砕きました。甘いチョコの香りが部屋中に広がり、自然とみんな笑顔になっていました♪完成した生チョコは、美味しく女性陣でいただきました！来年度もぜひ集まってクッキングしたいですね(#^^#) (記：佐藤(愛))



救命救急講習



去る2月27日に、仙台市太白消防署から講師をお迎えして「命を救う応急手当講習会～普通救命講習Ⅰ」をアプリで受講しました。当日は「救急車が来るまでに」をテーマに、「心肺蘇生法」「AEDの使用法」「119番通報」「気道異物除去」などの実技を中心に、日夜、救急救命士としてご活躍されている講師の先生から、貴重なお話を聴かせていただきながら約3時間の講習会となりました。

仙台市内での標準的な救急車到着までの時間はおよそ7～8分程度。その場に居合わせた私たちが適切な応急処置を行い、救急隊員や医師にリレーができることによって、救われる命が多くなっていきます。そのためには、正しい知識と技術が必要となることを講習会を通じて体得することができました。

今年度は「災害に強いアプリ」を目指して防災活動に取り組んできましたが、今回の講習会もその一環として位置付けながら、職員一人ひとりの意識の向上とスキルアップに繋げていきたいと考えました。(記：高橋)



編集後記 あっという間に1年が過ぎようとしています。アプリのことを通して、つどいの家・アプリのことや利用者を知りきっかけになればと思います。来年度も、アプリのことをどうぞよろしくお願い致します(^_^) (記：佐藤(愛))